

万田っ子だより

『目標に向かって挑戦』

第9号 (R8.9.16)

「Trial and error」

文責：校長 右田尚久

秋晴れの空が心地よい季節となりました。朝夕には、ようやく涼しさを感じる風も吹くようになり、少しずつ秋の深まりを感じる頃となりました。

9月も中旬を迎え、前期終了までいよいよ1か月を切りました。各学年では、単元テストや前期のまとめテストに向けて、子供たちがこれまでの学習を振り返りながら、しっかりと学習に取り組んでいます。

前期は、4月の進級・入学から始まり、運動会やさまざまな学校行事、日々の学習や友達との関わりなど、多くの経験を積み重ねてきました。前期の終わりを迎えるこの時期は、これまでの6か月間を振り返り、「できるようになったこと」「頑張ったこと」「もう少し頑張りたいこと」を考える大切な時期でもあります。

子供たち一人一人が後期に向けて新たな目標をもち、その目標に向かって「考え動く力」を発揮してくれることを期待しています。

さて、今後も子供たちの成長につながるさまざまな行事が予定されています。

【今後の主な学校関連行事】

- 9月29日(火) 玉名教育事務所総合学校訪問
- 10月9日(金) 前期終業式
- 10月13日(火) 後期始業式
- 10月15日(木)～16日(金) 5年集団宿泊教室
- 10月24日(土) 熊本県人権子ども集会(6年9名参加)
- 10月29日(木) 荒尾市親睦陸上大会(6年生参加)
- 10月31日(土) 荒尾市教育フォーラム
- 11月12日(木)～13日(金) 6年修学旅行
- 11月15日(日) 荒尾市民文化祭(3年生希望者参加)

これから、5年生の集団宿泊教室、6年生の陸上大会や修学旅行、人権について学ぶ機会など、子供たちにとって貴重な学びや挑戦の場が続きます。それぞれの行事を通して、子供たちが仲間と協力することの大切さを学び、自分自身の成長を実感してくれることを願っています。

校内美化作業

例年、夏休み最後の土曜日に実施している校内美化作業ですが、本年度は厳しい暑さが続いていることに加え、9月29日に玉名教育事務所総合学校訪問を予定していることから、9月12日に実施しました。

当日は、多くの保護者の皆様や子供たちに参加していただき、草刈りや窓ふき、トイレ掃除など、普段なかなか手の届かないところまできれいにしていただきました。また、万田西区の地域の皆様にも草刈りにご協力いただき、学校の環境を大変きれいに整えていただきました。

おかげさまで、校内が見違えるほどきれいになり、子供たちも職員も、気持ちのよい環境の中で教育活動に取り組むことができます。

学校は、保護者の皆様や地域の皆様に支えていただいていることを、改めて実感した一日となりました。お忙しい中、子供たちのためにご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



学校運営協議会～地域とともに考える学校の課題～

9月3日、地域の皆様をお迎えし、第3回学校運営協議会を開催しました。今回も、児童会の6年生と一緒に参加し、学校評価をもとに、学校の課題について地域の皆様と「熟議」を行いました。

学校評価は、7月に保護者、児童、教職員を対象に実施しました。その中から、それぞれの評価が低かった4つの項目を取り上げ、「これらの課題を解決するためには、どうすればよいか」について、子供たちも一緒になって話し合いました。

今回話し合ったのは、①「メディアコントロール」、②「家庭学習の工夫」、③「体力・健康」、④「地域への愛着」の4つです。グループごとに活発な意見が出され、その一つ一つをホワイトボードに書き出していきました。現在、その内容を職員室前の廊下に掲示していますので、来校された際にはぜひご覧ください。

今回の熟議で特に大切だと感じたのは、「子供だけに頑張らせるのではなく、大人も一緒になって考え、行動する」ということです。課題によっては、教職員が改善すべきこと、家庭で取り組むこと、子供自身が努力することなど、それぞれの立場から具体的な意見が出されました。



話し合いの中から、今後の取組につながる主な意見を紹介します。

◆「メディアコントロール」について

大人は、子供のお手本となるようなメディアの使い方をする。

子供は、大人と一緒にルールを決め、そのルールの中でメディアを上手に活用する。

◆「家庭学習の工夫」について

大人は、家庭学習の時間「10分×学年＋10分」の間は、携帯電話などを触らないようにする。

子供は、時間いっぱいタブレット（ドリルパーク）を活用するなど、楽しみながら取り組める家庭学習を工夫する。

教職員は、子供たちが興味をもち、「やってみたい」「楽しい」と思えるような宿題の内容を工夫する。

◆「体力・健康」について

大人同士が子供たちの体力や健康について話し合う。

子供は、大人に昔の遊びや遊び方を教えてもらったり、自分たちで新しいルールを考えたりしながら、外で体を動かして遊ぶ。

そして、子供自身が「どうしたら健康で元気に過ごせるか」を考え、行動する。

◆「地域への愛着」について

大人は、地域で行われる行事を子供たちに知らせるとともに、子供たちが参加したくなるような行事を企画する。

子供は、地域の行事について自分で調べたり、普段から地域の方々に進んで挨拶をしたりする。

今回の熟議を通して、学校だけで課題を解決するのではなく、学校・家庭・地域がそれぞれの立場でできることを考え、同じ方向を向いて取り組むことの大切さを改めて感じました。

子供たちのよりよい成長のために、地域の皆様、保護者の皆様と知恵を出し合いながら、「自他を大事に学び続け自分たちで創り上げる学校」を、これからもみんなで作っていききたいと思います。

